



FC TOREROS

NEWSLETTER

NO.9
2011年6月号

発行時期
毎月1回(最終土曜日)

【エフシートレーロス
ニュースレター】



(撮影)2011年5月7日、杉並第十小学校にて全日本少年サッカー大会第4ブロック代表決定!

Information

● COPA TOREROS 2011 VERANO の開催が決定!

今夏に開催するコパ・トレロース。今回は、U8からU13までの6カテゴリーに拡大し、東日本大震災復興支援チャリティ大会として、福島県より南相馬市のサッカークラブ、宮城県よりベガルタ仙台を招く予定です。また大会期間中、被災地の方々に応援する催しも行いますので、皆様の御協力の程、宜しくお願い致します!!尚、詳細は後日公式サイトにてUPしますので、御参照下さい。

【大会参加クラブ一覧(五十音順)】

ヴァンフォーレ甲府、ヴェルディジュニア、大宮アルディージャ、鹿島アントラーズ柏レイソル、川崎フロンターレ、ジュビロ沼津、湘南ベルマーレ、ベガルタ仙台、栃木SC、横浜F・マリノスプライマリー、横浜FC、イーグルス、FCパシモン、SCH 浦安JSC、コルージャ、城北ファイターズ、中野島FC、浜松開誠館中リトルジャンボ、FCWASEDA、あきる野FC、金井藤の台、クリアージュ、第一SSC、調布大塚、トレドSCあきる野、ファンルーツアカデミー、府ロクSC、町田JFC、三菱養和巣鴨、三菱養和調布、武蔵野ウイングス、横河武蔵野FC、滝山JFC、FC馬橋、井荻SC、荻小SC、高井戸FC、高二SC、東京都第4ブロックトレセン、西田SC、浜田山JSC、明和蹴球倶楽部、和田ブルドッグ、FCトレロース

● 観光庁長官より応援メッセージを頂きました!

観光庁長官 溝畑宏です。「COPA TOREROS - 2011 Verano」の開催に向けて、関係者の皆様が払われる時間と労力の大きさは容易に想像でき、その熱意に心からの敬意を表します。大地震の影響は、今、様々なところで、様々な形で現れています。個別的な対応では、この状況を打破することはできません。今こそやはりオールジャパンの協力体制が必要なのです。日本全国で皆が一斉に、かつ継続的に「元気の声」をあげることが重要なのです。スポーツはまさに適役と言えるものでありますし、特にサッカーは、選手やスタッフ、サポーターが一丸となるスポーツです。是非とも、大会を通じて、サッカーを通じて、子ども達の「笑顔」と「向上心」を引き出してあげて下さい。そして、今の日本に必要な「元気」を、子ども達の中から盛り上げ、日本全国に広げていって下さい。

子ども達の「笑顔」と「向上心」が、東北を、日本を救います。子ども達が「元気」になれば、日本も元気になります。皆様を心から応援しています!!

* 原稿は公式サイトよりダウンロードできます。



Best Supporter

子ども達がサッカーに夢になる為に親ができること。それは、子どもの良きサポーターになることです。今回はその心得を紹介しましょう。

『親のための「10」の心得』

- 試合や練習を見に行きましょう。
- 試合では全ての子どもを応援しましょう。
- 調子の良い時だけでなく、悪い時も温かく見守りましょう。
- チームリーダーを尊重しましょう。
- レフェリーに敬意を払いましょう。
- 子ども達を勇気づけましょう。
- 試合や練習の様子を聞いてあげましょう。
- サッカーに必要な用具を準備しましょう。
- クラブの仕事を尊重しましょう。
- 忘れないで下さい。サッカーをするのはあなたの子供です。

ノルウェーサッカー協会より

Toreros Voice

「自由な発想」。これは、サッカー選手にとって欠かせない能力のひとつです。しかし、ひとつ間違ってしまうと「自由＝なんでもあり」と誤った解釈をされがちです。何でもありでは、秩序が無くなってしまい、子ども達の発想する力まで失われかねません。ここでいう自由な発想とは、「理由+責任」が背景にあるものです。どんな意見を言うのも良いですが、発言に必ず理由があること。それさえあれば、自然と秩序のある自由へと繋がっていくものです。コーチ達も、子ども達の意見を引き出すことを大切にしています。トレーニング後に全員の前で「締めの一語」を言うのもそうですが、自分語りの時間が大切なのです。人前で発言をすることは、子ども達にとっては大きなチャレンジでしょう。家でも、練習後に「サッカーの練習でどんなことがあったの?」など、聞くようにしてください。その際、つい指示をしたり、叱ったりせず「どうしてそう思ったの?」と尋ねること。子ども達はその感想を言えば、すかさず「どうしてそう感じたの?」と聞き返す。北欧では、教育現場において「ミクシ?(どうして?)」という言葉大切にしています。自分の発言、行動に責任を持つこと。これは、自由の根幹にあるべきものです。本当の自由を追求していくと、自然とその根底にある「秩序」という枠組みに気付かされるものです。